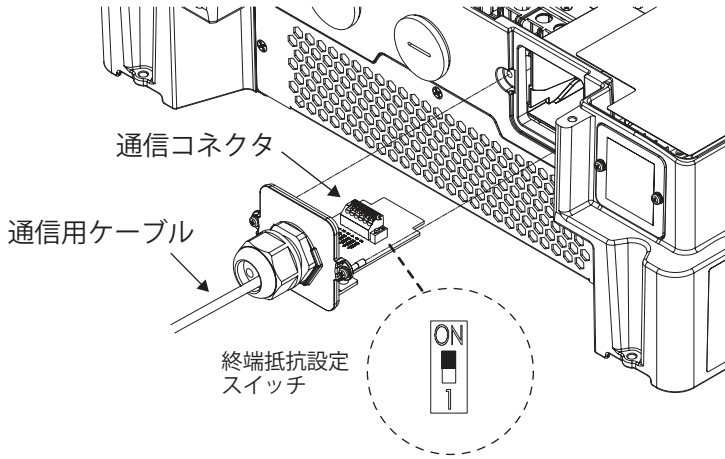


●通信用ケーブルをパワーコンディショナに接続する場合

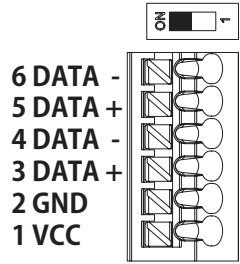
モニターや並列運転など外部機器と通信配線する場合、通信ケーブルを通して配線してください。

- 通信端子ユニットは、2本のビスを外すと取り出せます。
- 通信端子ユニットには、通信コネクタがあります。(※接続方法【通信線の接続】をご参照ください。)
- パワーコンディショナを設置される場合、最大32台までの接続が可能です。IDの設定は79ページをご参照ください。

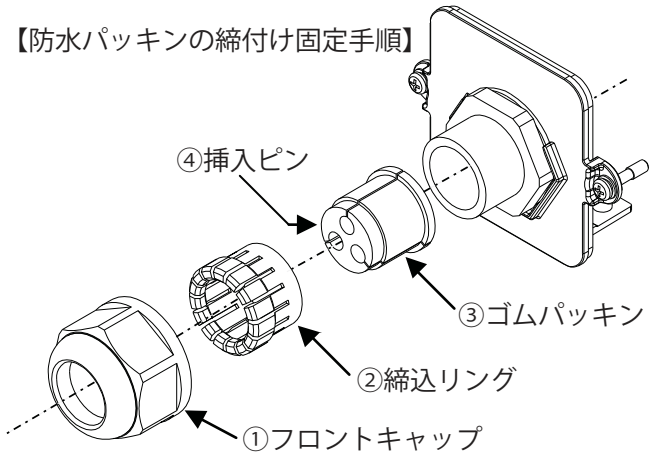
また、その際には終端抵抗の設定が必要となります。通信方式はRS-485です。



【通信線の接続】
通信コネクタのピン配列に従って追伸線を繋いでください。

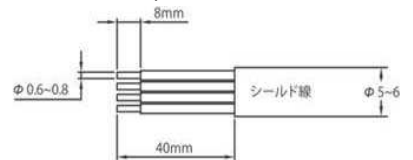


【防水パッキンの締付け固定手順】



- 1) フロントキャップ①を反時計方向に回し外す。
 - 2) 本体からパッキン部(黒色)を取り出す。
 - 3) 締込リング②からゴムパッキン③を取り出す。
 - 4) ケーブル挿入ピン④を抜き、ケーブルをゴムパッキン横の切れ目から入れる。
 - 5) ケーブルをコネクタに差し込む。
 - 6) 手順通りに元の状態に戻し、隙間ができないよう確実にフロンとキャップ①を締め込む。
- ※締め込む前に、ケーブルが撓んでいないか必ず確認してください。(接触不良の原因となります)

デルタ電子推奨ケーブル FCPEV-NC 0.65mm



推奨ケーブル:FCPEV-NC 0.65mm

【終端スイッチの設定】

1台の場合は"ON"(初期設定)で、複数台の場合は外部機器との配線距離が一番遠いパワーコンディショナのみを"ON"にするようお勧めします。

【複数のパワーコンディショナを接続するときの通信イメージ図】

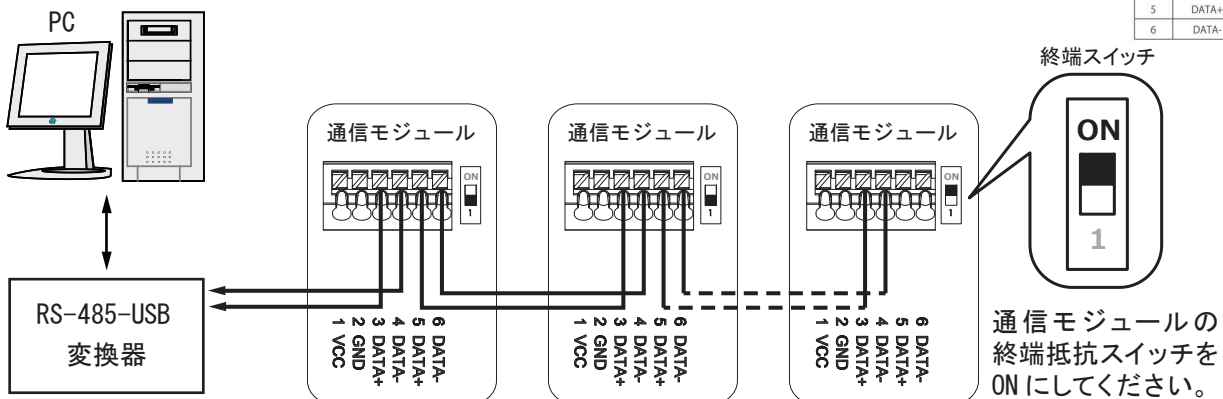


表 5-7 RS-485 の PIN 定義

ピン	機能
1	VCC (+12V)
2	GND
3	DATA+
4	DATA-
5	DATA+
6	DATA-

※ピン1とピン2は12Vの電源です。

パワーコンディショナから電源を取らない場合は接続がありません。

GNDをRS-485のアースとして使用しないでください。